

原発の再稼働や新增設、 核燃料再処理には 兆円単位の資金がかかっています

東京電力ホールディングスは1月23日、家庭向け電気のうち半数以上が契約している「規制料金」の、平均29%の値上げを国に申請しました。天然ガスなど火力発電の燃料が大幅に値上がりしている、とする理由は、「だから、コストの安い原子力発電が必要」と、国が原発推進へ転換する口実にも使われています。

しかし、再稼働のための安全対策工事や、完成する見込みのない使用済み燃料の再処理工場に兆円単位のばく大な資金が投じられていること、原発の新增設にどれだけのお金と時間がかかるのか、肝心なことは何も説明されていません。

核燃料再処理工場につぎ込まれている 資金の元は、電気代

古くても新しくても、原発を動かせば必ず「使用済み核燃料」が出ます。この使用済み燃料を切り刻んでプルトニウムなどを取り出すのが「核燃料の再処理」。もう一度燃料として使うので「核燃料サイクル」と呼ばれます。「使用済み核燃料」は、そのまま使わなければ、核の「ゴミ」でしかありませんが、再処理してもう一度発電に使う、という建前があるので「資産」として扱われています。原発を推進するために、崩すことのできない建前です。ところが、1997年に完成を予定していた「再処理工場」（青森県六ヶ所村）は、トラブル続きで完成のメドがたたず、注ぎ込まれる総事業費は、14兆円を上回ると言われています。その資金は消費者が、電気代として負担させられます。

また、再処理してつくった核燃料で、発電する技術を試すための原子炉が、福井県にある「もんじゅ」でした。1兆円以上の資金が注ぎ込まれましたが、冷却に使う液体ナトリウムの火災などの事故が続き、2017年に廃炉が決定。文部科学省の管轄なので、使われてきたのは税金です。このように、核燃料サイクルは完全に行き詰まっていますが、建前を維持するために、電気代や税金で集めたばく大な資金が投入され続けています。

【裏面につづく】

Love & Peace!!

私たちは、3.11 東日本大震災と福島第一原発事故以降、毎月11日に街頭宣伝活動を行っている労働組合です。



全造船関東地協労働組合
よこはまシティユニオン

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505

TEL&FAX 045-575-1948

E-mail yuniyoko@d2.dion.ne.jp



再稼働にも新增設にも兆円単位の資金 見通せない老朽原発の運転コスト

止まっている原発を再稼働させるためにもばく大な資金が投入されています。東京電力柏崎刈羽原発6・7号機の安全対策費は1兆6千億を超えていると言われていたのですが、テロ対策の不正などで事実上「運転禁止」になっています。

また、60年以上経った老朽原発まで動かそうとしていますが、老朽化した原発は稼働率の低下や、メンテナンスの費用・時間の増大で、コストは見通せません。何より事故の危険性が高まります。日本は、地震と火山の国だということも忘れてはなりません。

それでは、新たに原発を建設するには、いくらかかるのでしょうか。海外での建設工事の状況から、1兆円～2兆円と言われていません。建設費用を電力会社だけでまかない切れるかどうかに関わらず、負担するのは利用者、国民です。国の言う「革新炉」の建設を始め

る予定は10年先。資材が高騰したり、建設が長引けば、費用はどんどんかさみます。

やめても必要 途方もない資金 これ以上増やす選択肢はない

今、原発を完全にやめたとしても、福島第一原発の事故処理・補償、50基以上もつくってしまった原発の解体・廃炉、使用済み核燃料・高濃度放射性廃液などの保管・処理、何万年も続く核廃棄物の処分などには、途方もない資金と時間が必要です。原発の再稼働、新增設を進めれば、これがさらに増えていきます。資金・コストの問題だけとっても、具体的・現実的に考えれば、原発をやめるという選択しかないはずなのに、国や電力会社は何も説明しません。説明できないのです。

岸田政権の、原発推進への方針転換を、許すことはできません！

【組合員 N】

♥ 故長尾光明さんの闘いを胸に

よこはまシティユニオン組合員の長尾光明さん（故人）は福島第一原発で働き、被ばくが原因で退職後に多発性骨髄腫（血液のガン）を発症し労災認定されました。損害賠償を求めて東京電力を相手に裁判を起こしましたが、東電は労災認定はおろか病名すら否定。裁判所も長尾さんの請求を棄却しました（最高裁 2010年4月）。

♥ 原発で働く労働者と共に闘います

原発は電力会社を元請とした4～8次の下請会社で稼働しています。3.11以降、多くの労働者が福島第一原発の収束作業に関わり、被ばくを余儀なくされています。東電福島第一原発の収束・廃炉作業や九電玄海原発の定期検査に従事し、被ばくが原因で白血病になったあらかぶさん（40代男性）は2016年11月22日に東京電力と九州電力を相手に損害賠償を求めて提訴し闘っています。ぜひ多くの皆さまのご支援をお願いします。

♥ 職場の問題、いつでもご相談を！

東日本大震災や原発事故を忘れないため毎月11日に街頭宣伝活動を始めて、もうすぐ12年になります。労働組合としてできる事は何かをいつも考えています。「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前に一度ぜひ職場の問題をユニオンに寄せてください。一緒に解決しましょう！

【2023年2月11日】